



令和 5 年度 全国学力・学習状況調査の結果を基に「我が校」の実態を捉え、よさを伸ばすとともに、課題を整理し授業改善に取り組みましょう。  
調査結果の分析に基づいた学力向上に向けた取組例を紹介します。

## 1 分析

### 成果と課題の把握

#### 調査結果から、自校の実態を把握する。

「我が校の学力・学習診断ソフト」を用いてグラフ化すると、一目で実態が捉えられて便利です。

#### 簡単！便利！「我が校の学力・学習診断ソフト」を使った分析

##### 教科に関する結果

##### 県・全国の平均との比較

##### 正答率・誤答率・無解答率

ソフトは学力向上推進チームのホームページからダウンロードできます。  
※パスワードは「R5gkst」です。  
(パスワードの取扱いにご留意ください。)

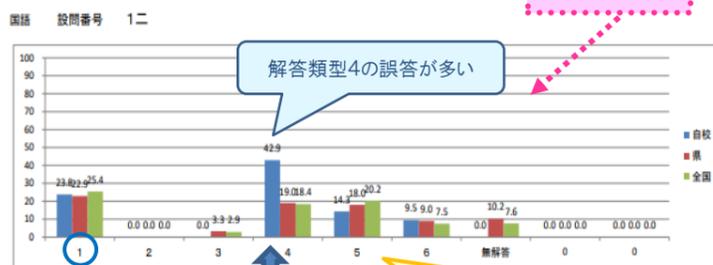
どの問題ができていて、どの問題ができていないのか把握し、児童生徒にその力が付いていない要因を分析することが大切です。

正答率の高い問題から順に並び替えることもできます。学力の状況を分析し、自校の「強み・弱み」を把握しましょう。

##### 解答類型

##### 児童生徒質問紙に関する結果

学習意欲や学習環境、家庭学習の実態等について把握し、学力の状況と合わせて分析しましょう。



正誤だけでなく、誤答の状況（どこでつまづいているのか）にも着目して、学習指導の改善・充実に図りましょう。

「解説資料」(国立教育政策研究所)には、つまづきの分析ができるように解答類型の説明が記載されています。



文部科学省提供データ「解答・回答状況」を用いて、個々の解答状況や学習状況の実態を把握し、**児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることも大切です。**

## 2 取組

### 指導計画の立案



教科共通の課題は、**学校全体で取り組むことが大切です。**  
**結果分析に基づく授業改善**について、担当学年だけでなく、**全ての教員で具体的に考えること**が、学力向上につながります。

#### 具体的な改善の取組を考える。

○児童生徒の実態に応じて、以下の資料等が参考にできます。

文部科学省  
国立教育政策研究所



調査の分析結果と課題  
結果を受けた指導改善のポイント  
授業アイデア例 等

富山県教育委員会

- 特徴的な問題 5月配布・HP掲載
- 対策のヒント 10月配布・HP掲載(予定)
- 学力向上推進チームかわら版「あしすと」
- 授業の達人DVD □ 授業改善推進員から提供された指導案、資料 等

「富山県教員応援サイト」には、授業づくりに役立つ資料がたくさんあります!



○学力向上講演会では、調査結果の活用や、課題に基づいた授業づくりのポイントを知ることができます。

#### 学力向上講演会 「全国学力・学習状況調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実について」

期日	教科	講師(国立教育政策研究所 学力調査官(併)教育課程調査官)
9月13日(水)	小学校(国語科・算数科)	渡辺 誠 先生(国語科) 直海 知子 先生(算数科)
9月14日(木)	中学校(国語科・数学科)	加藤 咲子 先生(国語科) 伊吹 竜二 先生(数学科)
9月20日(水)	中学校(英語科)	清水 友晶 先生(英語科)

※該当校種は、各校1名以上の悉皆研修です。  
受講者は、**学校全体で取り組むことができるよう情報共有をお願いします。**

計画の段階で取組の成果をいつ、どのように検証するのかを決めておきましょう。

#### 学校における授業改善や生活指導

成果や課題、取組の方向性を地域・家庭と共有することも大切です。

必要に応じて修正しながら、改善の取組を実施しましょう。

## 3 評価

### 改善状況の把握

#### 計画時に考えた検証方法で評価する。

○富山県教員応援サイトにある以下のワークシート等を活用して、改善状況を確認することもできます。

- 「知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力等を伸ばす問題に挑戦しよう」  
□ B問題に挑戦(～R2年度) □ 力を試そう 富山県オリジナル問題(R3年度～)
- 「過去の全国学力・学習状況調査の問題を解いてみよう」  
□ 設問別ワークシート(全国学力・学習状況調査の設問ごとに短時間で取り組める)
- 「課題のみられた単元の復習をしたので、理解できているか確認しよう」  
□ 単元確認問題

「きときと とやまっ子学習応援サイト」からもダウンロードできます。  
自分の課題を把握し、自ら改善していこうとする児童生徒の取組を応援します。



## 4 改善策

### 次年度に向けた課題整理



取組を進めるためのポイント

- 1 計画的に行う・・・年間の行事予定の中に組み込む。
- 2 組織的に行う・・・結果や課題を全体で共有し、取り組む。  
小・中学校で連携して取り組む。

校内研修等で結果分析を基に授業改善について話し合いましょう。  
**アラカルト研修**を利用して、学力向上推進チームと一緒に分析することもできます。

